

科目名 (科目番号)	母性看護学実習 (時間割参照)	教員名	額額祐子 井上刷子	学科等 曜日・時限等 授業形態	看護 時間割表参照 実験・実習	必修 オフィスアワー	履修年次 単位数	4 2
授業概要	母性看護学概論，母性看護学援助論の学習内容をふまえ，リプロダクティブヘルス・ライツの視点から，ライフサイクル各期にある女性の健康状態を査定し，ウェルネスを促進する支援のあり方や包括的な看護活動を学ぶ。							
目的・目標	目的:周産期にある母子の身体的特徴およびその家族を含めた心理・社会的特徴を査定し、看護における基本的な実践能力を修得する。							
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	1. 学習内容 周産期（妊娠期・分娩期および産褥期）における母子の身体的特徴、およびその家族を含めた心理・社会的特徴を査定し、対象に応じた必要な看護実践能力を養う。 2. 到達目標 1) 妊娠、分娩、産褥期の母子の健康状態を評価考察し必要な援助について考察できる。 2) 周産期における継続看護の実践について考察できる。 3) 正常な経過を逸脱した妊娠、分娩、産褥期の母子の健康問題について考察できる。 4) 医療チームの一員としての看護職者の役割を理解し、専門職としての態度を養うことができる。 5) 実習を通して、生命の尊厳や親子家族について考え自己の看護観を養うことができる。							
成績評価の方法・基準	母性看護学実習要項の評価表に基づき評価する。							
教科書	母性看護学概論・援助論と同じテキスト							
参考図書	周産期の看護技術 ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程 第4版			櫛引美代子 太田操		医歯薬出版株式会社 医歯薬出版株式会社		
教員からのメッセージ	周産期における看護実践は、母子および家族が対象であり、また、その展開が速く1度しか学習できないというような場面もあります。貴重な看護活動を成果あるものとするために、事前学習を確実に行って実習に臨みましょう。実習を通して生命への畏敬、家族・地域社会との関係を考える機会としましょう。産科病棟で勤務経験のある助産師資格を持つ教員が担当します。オンライン授業に変更の場合は変更内容を提示します。							